

岡崎市社会資本整備総合交付金

「公共施設の整備による良好な住環境の向上」事後評価 議事録

日 時：令和3年6月7日（月）～6月23日（水）

場 所：書面開催

出席者：

（評価委員）

委員長：名城大学教授 鈴木 温 氏

委 員：名古屋大学准教授 井料 美帆 氏

委 員：名古屋大学准教授 中井 健太郎 氏

委 員：名古屋市立大学准教授 三浦 哲司 氏

（事務局）

岡崎市総合政策部企画課係長 鈴木

岡崎市総合政策部企画課主事 増澤

岡崎市都市基盤部市街地整備課係長 瀧波（説明者）

岡崎市都市基盤部市街地整備課主査 永田

（傍聴人）

なし

事務局	<p>社会資本整備総合計画「公共施設の整備による良好な住環境の向上」の、計画内容、実績、指標達成状況、評価について説明。</p> <p>本市の組合施行土地区画整理事業と関連する道路・公園事業を一体的に行う計画。</p>
鈴木委員長	<p>説明スライド中の（２）交付対象事業の進捗状況の部分で記載のある「進捗率」とは何か。真伝の事業は完了しているのに「進捗率」が62%となっている。また、岡崎駅南は99%となっているが、まだ事業は継続中ではないか。</p>
事務局	<p>資料中に記載しているのは、計画期間の5年間の交付金の事業費に対して、交付金事業として実際に実施した事業費の割合である。</p> <p>「充当率」のような表現に修正させていただき、誤解を生じないように、別途、区画整理の事業進捗率を表記する。</p>
鈴木委員長	<p>全体として、計画通り進んできていると感じている。</p> <p>指標③について、整備時に周辺の住宅が未建設といった、アンケート調査未実施の理由は理解できたが、区画整理事業自体は予定通りであったのか。公園周辺に住宅が未建設であった要因は何か。</p>
事務局	<p>菟川南部土地区画整理事業では、1号公園のある竜泉寺川左岸に集合保留地を設け、分譲を行っている。一方、2～3号公園の位置する右岸では、従来の地権者への換地が多く、個人所有の土地について、土地利用の開始時期に差が生じてしまったためであると考えている。</p>
鈴木委員長	<p>承知した。今後、住民参画のやり方の工夫として、住民がまだいない場合でも、近隣の幼稚園などの利用者の意見を聞くというような手法も検討してみてもどうかと考える。</p>
事務局	<p>まちづくりへの住民参画の手法について、今後の事業においても引き続き様々な手法で実施していく。</p>
井料委員	<p>指標③については、基幹事業の進捗の影響や、アンケートの未実施理由など理解できる。</p> <p>指標②の住宅の着工件数の指標について、戸建住宅と集合住宅を同じ一件としてカウントすると、戸建住宅が多い方が数字上、件数が伸びることになる。実際の現地の土地利用は計画と整合したものとなっているか。</p>
事務局	<p>菟川南部は戸建て中心、駅南はJR岡崎駅に近く集合住宅も存在。用途地域や地区計画などの誘導もあり、概ね計画に沿った土地利用となってきた。</p>

井料委員	指標④の走行時間の短縮の指標について、机上計算とのことだが、実際に事前・事後をどのように計算・計測しているのか、具体的に教えてほしい。
事務局	救急車の平均走行時間を約40kmと設定し、設定した地点間の道のり距離と平均走行速度から計算しているもの。事前は当整備計画での道路整備前のルートで、事後は計画期間終了時の道路整備後のルートで計算。
井料委員	評価指標④の導出方法について理解した。この計算方法では、走行距離のみによって旅行時間が決まるが、算定根拠として引用された論文にもある通り、実際には救急車両の速度は道路交通条件にも依存している。今回の地点でも、走行距離短縮だけでなく、交通環境の改善による旅行時間の短縮効果もあったのではないかと考える。
事務局	今回の算出では、交通環境の影響を考慮せず、距離と平均速度で所要時間を算出している。走行経路は、土地区画整理事業等で交通環境が改善されているので、短縮効果は期待できるが、プラスの効果なので、今回の指標の計算では考慮しないものとした。
井料委員	評価指標④について、今回の実績値では事業費割合に応じて計算しなおしているのかを確認したい。なお、短縮時間を事業費割合で案分する計算方法は非常に違和感を覚える。本来であれば、R2までの計画で整備される路線や、実際に整備された路線の経路のみを用いて、R2時点の目標値・実績値を導出すべきだったのではないかとと思われる。
事務局	ご指摘の通り、指標設定時点から、事業費割合に応じて計算する指標となっていた。考え方としては、医療施設へのアクセスとしては、南側からの経路は不可欠と考えているが、R2時点では福岡線が部分的に整備できても、経路は変わらないため、効果が出ないことになる。そこで、南からの経路を削除するのではなく、事業費割合で算定することとしている。事業期間が長い路線であり、やむを得ないものと考えているが、今後指標の設定において同様の手法をとる場合は、より分かりやすい計算方法を検討していく。
中井委員	各事業とも予定通り進み、効果が出ていると感じられる。 指標③の菘川南部のアンケートの未実施の理由については理解した。公園のアンケートなどについて、内容はどのようなものであり、それがどのように反映されたのか。

事務局	<p>街区公園のアンケートでは、遊具の種類や配置、樹木の種類などを複数案から回答できるようなアンケートで実施し、それを参考に整備の計画を作っている。</p> <p>駅南中央公園では、ワークショップで出た意見などを参考に、藤田病院の隣ということもあり、健康遊具の設置や広場の配置などを行っている。</p>
中井委員	<p>当計画では主のテーマではないかもしれないが、こういった市街地整備事業に合わせた防災上の対策等を行っているか。</p>
事務局	<p>特に岡崎駅南地区については、造成を行う上で大規模な軟弱地盤対策を行っている。また、浸水常襲地区でもあったことから、下流河川の改修を待って事業に着手し、他事業として雨水ポンプ場の改修を行うなど、基盤整備の前提として多くの防災対策を行ってきている。</p>
三浦委員	<p>指標①の駅南の消防活動困難区域解消率は、実績値は82%であるが、当計画期間後、将来的には100%を目指すということか。または最終的にも解消しない区域もあるのか。</p>
事務局	<p>引き続き実施する区画整理による基盤整備によって、地区内の解消率100%を目指す。</p>
三浦委員	<p>指標②の新規住宅等の着工件数については、成果が上がりすぎであり、当初見込みが甘かったのではないか。</p>
事務局	<p>所有者個人の土地利用意向や住宅需要に左右される部分もあり、想定がしにくかったことは確かであるが、想定以上に活発に土地利用がされた結果と考えている。</p>
三浦委員	<p>岡崎市では、公園事業を行う際にワークショップやアンケートなどが義務付けされているのか。こういった公園整備などの際の住民意見聴取の手法については、何か決まりがあるか</p>
事務局	<p>義務付けはしておらず、手法についても決めはない。当計画においては、まちづくりへの参画を促進するため、アンケートやワークショップなどを住民参画の指標として設定した。</p>
中井委員 三浦委員	<p>ここ2年、各事業で新型コロナウイルスによる何らかの影響はなかったか。</p>
事務局	<p>組合の役員会や総代会等の会議において気を使って運営しているが、特に事業の遅れなどの影響を受けたという話は聞いていない。</p>

【結果】

この事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。